

報道機関各位

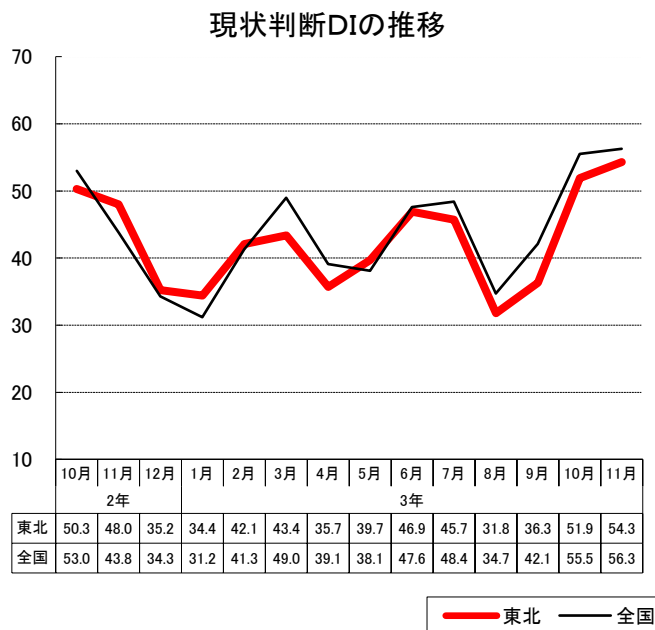
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年11月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年11月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

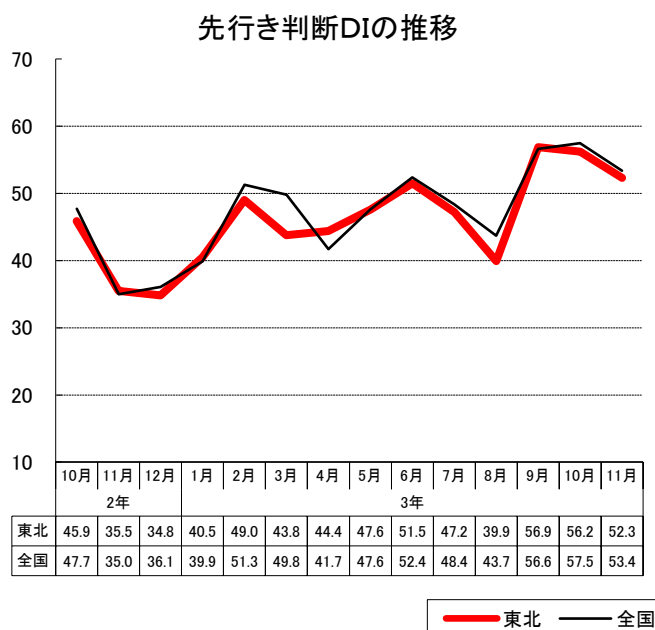
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「54.3」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.4ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

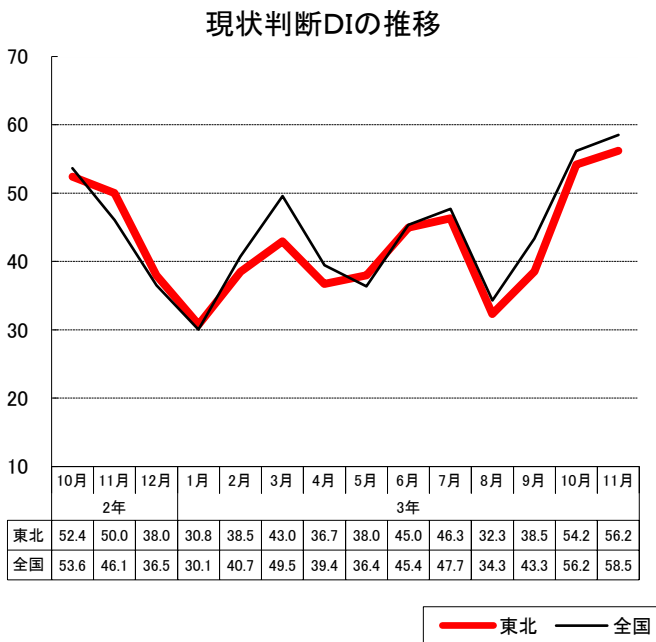
先行き判断DIは「52.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲3.9ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「56.2」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.0ポイント上昇した。



○家計動向関連…スーパー、家電量販店、一般小売店等の業種でDIが前月を下回ったが、百貨店、衣料品専門店、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「54.3」(+2.5)と、3か月連続で前月を上回った。

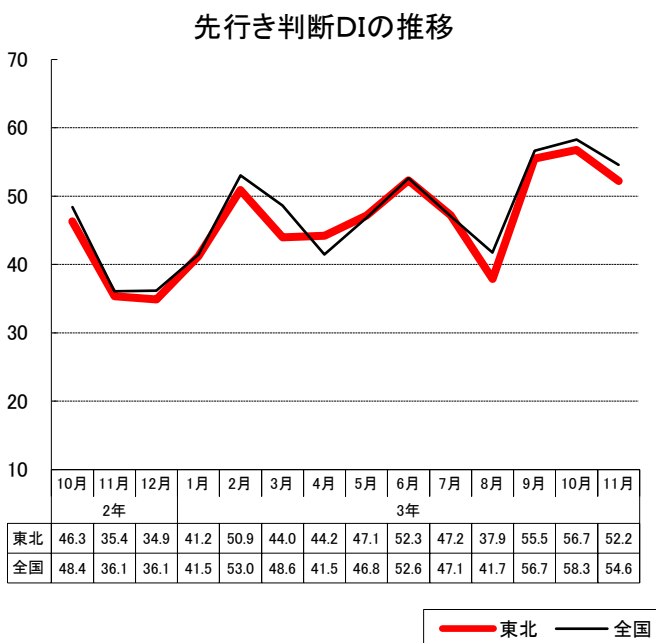
○企業動向関連…出版・印刷・同関連産業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、農林水産業の業種でDIが前月を上回ったが、建設業、通信業、土石製品製造販売等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「55.1」(▲1.5)と、3か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「69.7」(+5.2)と、2か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「52.2」と3か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲4.5ポイント低下した。



○家計動向関連…衣料品専門店、一般小売店、その他サービス[自動車整備業]等の業種でDIが前月を上回ったが、高級レストラン、スーパー、一般レストラン等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.4」(▲3.3)と、2か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回ったが、金融業、通信業、金属製品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「54.4」(▲3.7)と、3か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「59.2」(▲13.2)と、3か月ぶりで前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	2年			3年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北現状	52.4	50.0	38.0	30.8	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2
家計動向関連	51.2	47.7	35.1	27.7	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3
企業動向関連	55.1	56.6	44.1	34.8	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1
雇用関連(参考)	55.0	52.5	45.0	42.5	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7

（2）先行き判断D I

	2年			3年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北先行き	46.3	35.4	34.9	41.2	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2
家計動向関連	44.1	32.4	32.4	41.3	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4
企業動向関連	50.0	44.1	42.6	43.2	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4
雇用関連(参考)	53.8	38.8	36.3	37.5	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和3年11月25日～30日

回答者数 169/189 名、回答率 89.4%（全国 1,828/2,050 名、89.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（百貨店）…感染状況が落ち着き、2～3人や家族連れ等複数人での来店が増加傾向にあり、数か月前には見られなかった状況となっている。また、購買意欲も上がってきており、店舗セールを中心に売上も上昇している。

（衣料品専門店）…大幅な制限緩和により地元客も県外客も本格的な購買が始まっている。高額ブランド商品のニーズが多い。

（その他専門店[靴]）…来客数が増えている。特に郊外店舗の週末の集客が大きく伸びている。

（その他小売[ショッピングセンター]）…新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたことに加え、店舗の改装リニューアルが相次ぎ、客がかなりの勢いで戻ってきている。今まで消費が抑えられてきたことの反動もあると考えられる。

（一般レストラン）…11月になってから明らかに来客数が増えている。土日の昼を中心に満席になる日もみられるようになってきた。いかに感染の状況が影響していたのかが分かる。

（人材派遣会社）…各社業績がV字回復していることから採用ニーズが増えている。特に自動車周辺や半導体周辺の製造業系や小売、外食系の企業も今後のめどが立ったため、製造や販売スタッフの採用ニーズが急激に増加している。再び人材確保を課題とする企業が増えることが想定されている。

○「やや良くなっている」

（一般小売店[酒]）…国や自治体の様々な制限解除により、徐々に各企業独自の制約も緩み、飲食店の夜の予約が少人数ではあるが入るようになってきた。それに伴い、アルコール類の販売量が僅かではあるが増加傾向にある。

（コンビニ）…販売単価の増加により売上は微増傾向にある。しかし、来客数は減少が続いており、先行きは見通せない状況である。

（高級レストラン）…12月の予約数が伸びてきている。

（観光型ホテル）…宿泊客数が前々年と同等になっている。

（タクシー運転手）…今月に入り曜日に関係なく、夫婦、家族連れ、友人同士、カップル等の少人数グループの観光客が当地を訪れている。タクシー事業においても、売上は前月の2倍となる見込みである。予報とは違う悪天候も増収要因の1つとなっている。ただ、来月は観光閑散期に入るので先が見えない状況に不安が残る。

（通信会社）…新型コロナウイルス新規感染者数が急激に少なくなり、その状態が継続しているが、慎重に活動している人が多いため、外食や旅行に行く人が一気に増えたといったことはない。自宅時間が思ったより減っていないため、インターネットの利用者は増えている。ただ、同業他社との価格競争は激化しており、客の争奪戦になっている。

（美容室）…近場に旅行に出掛けたり人に会ったりする前に髪を切ろうという人が増え、来客数が増えている。

（その他サービス[自動車整備業]）…イベントやスポーツ観戦、文化行事などの開催が復活し、人の動きが回復しており、来客数や売上金額も回復している。

（住宅販売会社）…少額資金の客の建売住宅が販売好調である。

（その他住宅[住宅展示場運営会社]）…前年比では減少しているが、前月比では微増している。次年度に向けた住宅に関連する施策情報が出たことと、新型コロナウイルスの感染者が少なくなったことにより、来場者数が増加する兆しがある。

（出版・印刷・同関連産業）…社会経済の動きが、新型コロナウイルスの落ち着きとともに回復傾向にある。

(金属製品製造業) …新変異株や素材の高騰など不安材料はあるものの、目先の受注は力強い。
(経営コンサルタント) …郊外のショッピングセンター等大型商業施設には週末の人出が戻りつつある。
(新聞社[求人広告]) …求人広告の申込みが増加してきている。その他の広告も、旅行関係中心に増加傾向にある。

○「変わらない」

(商店街) …ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの状況が続いたことで客足は戻りつつあるが、売上アップにはまだ結び付いていない。
(家電量販店) …来客数は回復傾向にあるが、販売額、販売量が停滞気味である。
(乗用車販売店) …3か月前と比べて来客数が極端に増減しているとはいえない。新型コロナウイルスなどの関係で新車は長納期となっている。メーカーより納入されないため売上が芳しくない。
(農林水産業) …お歳暮用の贈答りんごの注文数は例年並みである。また、農協ではりんごが前年より1～2割程度高値で販売されていると職員が話していた。
(建設業) …民間案件を含め、一定の受注契約を得ている。
(通信業) …新変異株の影響で、客の反応は消極的傾向になっている。

○「やや悪くなっている」

(職業安定所) …訪問事業所の話では、原油や鉄鋼価格の高騰により、値上げ交渉ができない中小企業においては利益幅が縮小している。また、物流についても、海外の船便の入港に時間が掛かるなど、輸送コストが増加しつつある。

○「悪くなっている」

(スーパー) …新型コロナウイルスの感染が落ち着くと同時に、11月に入り家庭内食の頻度が低下しているのか、食材の販売量が低下している。
(住関連専門店) …新型コロナウイルスの感染が下火になって経済活動も活発になってきたが、最近の消費者はキャッシュレスやポイント等を重要視しており、そのようなことが何もない当店のよう個人商店には足が向かないようで客足は芳しくない。
(土石製品製造業) …需要の減少に加え、原材料や燃料の価格高騰の影響が大きい。コストの上昇を製品価格に転嫁できていない。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(一般小売店[医薬品]) …新型コロナウイルスもここしばらく沈静化の状態が続いている。また、年末に向かい客が今まで買い控えていた商品を買いに来ているので、12月は良くなるとみている。
(衣料品専門店) …飽くまでもこのまま新規感染者数が増えないことが前提だが、初売りで帰省客が増える。成人式が通常どおり行われる。卒業式、入学式が行われる。こういったマーケットが活性化してくれば、上向きになると予測している。

○「やや良くなる」

(その他サービス[自動車整備業]) …今年の年末には期待している。
(電気機械器具製造業) …電子部品の品薄に伴い価格が上昇したことで、コロナ禍における業績は良かった。それを設備投資に回すことで、今後徐々に業績が更に良い方向に向かうと考えている。
(広告業協会) …第6波が来ないことを祈っている。予定されているGo Toキャンペーン再始動が、人の移動や消費意欲を活性化させ、広告出稿増大の原動力となることを期待している。
(新聞社[求人広告]) …新変異株の感染が懸念されるが、各種イベント実施が増えてきている。

○「変わらない」

(百貨店) …いまだ感染状況に左右される不安定さがあることと現在の動向から、来客数に更なる改善傾向はみられないと想定される。

(乗用車販売店) …年末～年度末にかけて増産体制が整うという情報も入っているものの、足元の感覚値ではその兆候は全くない。メーカー及びサプライチェーンの増産計画が軌道に乗るまで、まだまだ辛抱が必要である。

(旅行代理店) …客の旅行動向は新型コロナウイルス感染症拡大の第6波を警戒しながら少人数、近場が中心で、間際予約が続いている。また、先行予約も同様の傾向にある。今後もしばらくはこの状況が継続するものと想定している。

(金属製品製造業) …新変異株や素材の高騰など、不安材料による影響が計りしれない。

(通信業) …半導体の影響が大きく、受注があっても製品を提供できない状態が続いている。今後も改善されるめどが立っていない。

(金融業) …新型コロナウイルス第6波は想定したくないが、少なくとも消費者行動に感染症対策意識が与える抑制的影響は一定割合で存在し続けるものとみられることから、今月と同程度にとどまるものと予想する。

(司法書士) …新型コロナウイルスの沈静化による景気回復も、住宅用半導体関連の部品不足による工期延長などが足かせとなることが懸念される。

(職業安定所) …製造業については、生産高は上がるものの収益面ではコスト増となった分だけ伸び悩みそうである。しかし、コロナ禍からの回復により、宿泊、飲食、サービスについては個人利用客が増加していくとみられる。ただし、温泉街などの旅館の話では、団体客の受入れや企業の宴会利用などは特に慎重になっているとのことで、売上の大きな回復は見込めないとみている。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …各種値上げや新変異株の流行を懸念して、生活防衛意識が高まると心配している。

(高級レストラン) …現在はGo To Eatキャンペーンの食事券の利用が多いために売上等は上がっているが、1～2月に発行されるかはまだ分かっていない。発行次第では今月のような売上にはなるとみている。後は、新変異株の影響を非常に懸念している。

(一般レストラン) …客の酒の飲み方が変わったような気がするので、例年並みの忘年会や新年会は期待できない。例年よりはやや悪くなるとみている。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …取引先の地域や自分のところのデリバリー地域をみると、それほど悪い状況ではない。しかし全体をみると、生活者の給料が上がらないとかボーナスが出ないといった状況のなかでなかなか金を回しづらくなっており、消費が減退するとみている。

(人材派遣会社) …新型コロナウイルス感染が収束に向かっているが、新変異株の発生もあり、まだ先行きは不安定である。株安と原油価格の高騰といった景気悪化の要素も内在している。

○「悪くなる」

(商店街) …いろいろな規制により9月までは最悪の状態であったが、10～11月は少しずつ自由な動きに戻ってきている。ただ、12～2月の予約状況を見ると、通常の形には戻ってこない感じがあり、かなり消費が停滞すると予想している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上